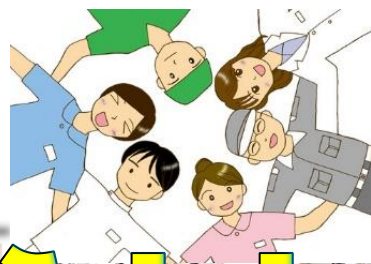


「ONE TEAM “チーム秋穂”」



ご卒業おめでとう!!



秋穂中 HP
QRコード



秋穂中 TEL
083-984-2114

卒業式の校長式辞

※一部省略しています。

まずは、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本日、皆さんは中学校3年間の全課程を修了しました。先程、一人ひとりに手渡した卒業証書には、皆さんが本校で仲間たちとともに共に過ごしたたくさんの思い出が刻み込まれており、かけがえのない3年間の重みを感じられたことと思います。

思い起こせば、皆さんが本校に入学した令和4年4月は、新型コロナウイルス感染症の影響の真ただ中にありました。生活に制限が設けられ、マスク姿で行き交う人々の様子も、いつしか当たり前の光景になっていました。その後、皆さんが2年生になった令和5年5月8日には、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に変更され、感染対策は継続しつつも、徐々に生活の制限が緩和されていきました。学校生活においても、徐々に元の姿に戻り、生徒の笑い声や歌声が聞こえるようになってきました。

そして、令和6年4月。皆さんは、3年生となり、後輩へのお手本となることはもちろんのこと、学校の看

板を背負って立つ、言わば学校の顔として責任ある立場になりました。

この頃は、世の中全体も落ち着きを取り戻し、学校においてもコロナ前の教育活動を行えるようになりました。そんな中、3年生のもつ明るく元気な雰囲気、いつしか学校全体の雰囲気として、定着してきました。そして迎えた2大行事の体育祭と文化祭。3年生を中心に、全校生徒で記憶に残るすばらしい行事を作り上げてくれました。

体育祭では、体育祭実行委員長、各隊の隊長がリーダーシップを発揮し、生徒たちの力で作り上げる体育祭を実現してくれました。特に「秋（あき）中ソーラン」では、大漁旗がたなびく中、一糸乱れぬ踊りを披露し、会場を盛り上げました。文化祭では、まず思い出すのが、生徒会拡大執行部の皆さんのアイデアあふれるオープニング、エンディングです。全校生徒が楽しい雰囲気のまま、合唱、ステージ発表につなげていくことができました。

そして忘れてはならないのが、3年生の演劇「一冊のノート」です。昨今、社会問題にもなっている「特殊詐欺」の被害、そしてそれに付随する「闇バイト」の問題。山口県も

被害が出ており、秋穂地域も例外ではありません。全国で今、高校の演劇部が劇を通して、高齢者に特殊詐欺被害防止を呼び掛けているという情報を得た私は、3年生に理由を話し「ぜひやってみてはどうか」と投げかけました。すると、快諾してくれ、当日に向けてそれぞれの持ち場ですっかり準備をし、見事な演劇を披露してくれました。当日は山口南警察署の方も見えになり、ステージで感謝の意を述べられました。

他にも、新しい取組として、生徒会執行部の投げかけで、秋穂中学校だけでなく、秋穂中学校区2校の小学校も巻き込んで行った「服のチカラプロジェクト」も記憶に残っています。ユニクロを経営する株式会社ファーストリテイリングと国連がタイアップし、世界の難民の子ども達に服を送ろうというプロジェクトに、秋穂中学校は初めて参加し、これも大成功を収めました。

このように、卒業生の皆さんは、今年度3年生として数々の財産を秋穂中学校に残してくれました。その中心となったのが、生徒会拡大執行部をはじめとするリーダーの皆さんです。しかし、リーダーだけでは学校はうまく機能せず、そこには

必ずリーダーを支える生徒つまりフオロアーが重要になってきます。このリーダーとフオロアーを結び付け、全校生徒を1つにまとめたのが、令和6年度の生徒会スローガン「道」だったように思います。

「道」というタイトルの歌や詩は、多くの歌手や著名人が発表しています。3年生が文化祭の合唱で披露したのもエグザイルの「道」でした。私は、この栄えある卒業式の式辞で、松下幸之助さんの「道」という詩を卒業生に贈りたいと思います。松下幸之助さんは、皆さんご承知の通り、日本の大企業パナソニックの創始者です。彼は、貧しい家に生まれ、小学校しか出ていません。そんな彼は、想像を絶するような数々の苦勞を乗り越え、起業し、最終的には、「日本のリーダーを育ててくはならない」という思いから巨額の私財を投げ打って「松下政経塾（まつしたせいけいけいじゅく）」を開きます。言わば、吉田松陰が開設した松下村塾（しようかそんじゅく）の昭和版です。松下幸之助は、晩年、塾生達に向け、今から紹介する「道」という詩を送りました。（学校だより28号に掲載しています）

この詩の内容は、前途洋々たる明

るい未来が待っている卒業生の皆さんには、少々厳しい内容かもしれませんが。

しかし、あえて言わせてもらおうと、今後、君たちの前にある道は、決して平坦な道ばかりではないという事です。どちらかというと厳しい道の方が多いかもしれません。いや、多いのです。

その厳しい道を目の前にしたときどうするのかで、その後の人生が決まってきます。もう少し言うならば、その人の「人間の価値」が決まってきます。人間は、私もそうですが、弱い動物であり、苦しいことから逃げたしまいがちです。または、逃げないまでも人のせいにしてしまいがちです。こうなったのは〇〇のせいだと言った具合です。

しかし、そうではなく、松下幸之助さんの詩にもあるように、まずは、逃げずに歯を食いしばって歩いてみる事です。そうすると、必ず新たな道が開けてきます。そして、そのように頑張っている人には、必ず助けてくれる人が現れます。

また、どうしても苦しくて立ち止まりそうになったときは、親、先生、秋穂中の仲間、秋穂地域の方に相談してください。必ず助けてくれます。

君たちの周りには、君たちのことを思ってくれている人がたくさんいます。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様にお祝いとお礼の言葉を申し上げます。

本日まで、手塩にかけてお子様を育ててこられた保護者の皆様のお喜びは如何（いか）ばかりかと拝察いたします。また、お子様のご入学以来、本校の教育活動に対しまして多大なるご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。

併せまして、これまで卒業生に対して大きな愛情と慈しみをもって見守ってくださいました地域の皆様に厚くお礼申し上げます。

また、先程申し上げたように、先行き不透明な部分が多い世の中です。保護者の皆様、地域の皆様には引き続き、卒業生へのご支援をよろしく願います。

結びに、卒業生の皆さんのこれらの輝かしい前途と、本日ご出席の皆様様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、式辞といたします。

令和7年3月7日

山口市立秋穂中学校

校長 中原雅史